



2022年8月22日
東日本旅客鉄道株式会社
株式会社 JR 東日本商事

「JR 東日本社員撮影カレンダー・撮り鉄コミュニティカレンダー」を販売します！
～“社員ならではの”、“ファンならではの”のカレンダーをお手元でお楽しみください！～

1. 東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長:深澤 祐二、以下「JR東日本」と)と株式会社JR東日本商事(代表取締役社長:井上 晋一、以下「JR東日本商事」)は、JR東日本社員が撮影した写真を使用したカレンダーの販売を行います。
2. JR東日本の社員が撮りためた、車両センター内の風景や既に引退してしまった車両、複数車両の珍しい並びなど、普段目にするできない光景をカレンダーにしました。
3. JR東日本の社員目線で感じることができる個性ある車両や風景をお楽しみください。
4. 2023年度は撮り鉄コミュニティ会員から募集した写真を使用したカレンダーの販売も行います。



※画像はイメージです。使用する画像は変更する場合がございます。

1. カレンダーコンセプトについて

2022年度に続き、JR東日本の乗務員区や車両センターに所属する社員が、日頃接する光景を撮りためたものをカレンダーにまとめました。2023年度は、鉄道の車種やエリアごとにテーマを設け、5種類のカレンダーを制作いたしました。今は目にすることのできない引退車両や、JR東日本社員の目線で撮影された貴重な場面を、ぜひともカレンダーでお楽しみください！

また、今回は初めて撮り鉄コミュニティ会員から募集した写真を使用したカレンダーを制作しました。鉄道に精通しているファンだからこそその視点で撮影された一押し四季折々の風景写真を、是非お手元でお楽しみください。

2. 販売するカレンダーについて

商品名	2023 JR東日本社員撮影カレンダー	2023 撮り鉄コミュニティカレンダー
タイプ	B3サイズ・壁掛けタイプ	A5サイズ・卓上タイプ
販売価格	2,200円(税込)	1,430円(税込)
種類	5種類	1種類
販売場所	・TRAINIART JRE MALL店 (https://www.jreastmall.com/shop/c/c01/) ・TRAINIART TOKYO店 ・ミュージアムショップTRAINIART 鉄道博物館店 ・TRAINIART アトレ吉祥寺店	
販売開始日	2022年9月21日(水) (※TRAINIART JRE MALL店では12時より)	2022年10月以降予定

※2023 撮り鉄コミュニティカレンダーの販売につきましては、詳細が決まり次第、別途TRAINIART公式Twitter (<https://twitter.com/trainiart>)にてご案内いたします。

※販売数量には限りがあります。売り切れの場合はご容赦ください。

※販売開始日・販売箇所・販売商品の内容は、予告なく変更となる場合があります。

※ミュージアムショップTRAINIART 鉄道博物館店の入場には、鉄道博物館の入場チケットが必要となります。

■撮り鉄コミュニティとは

ファンのみなさまに向けた情報発信や、ニーズを反映した限定企画の開催などを目的とした「撮り鉄コミュニティ」を2021年11月10日より、ファンコミュニティ「Mechu」の中で開始しました。

ファンのみなさまが考えていることやニーズをコミュニティ内で共有していただき、社員も交えながらどのような体験や企画をご用意できるかを検討しています。

ファンのみなさまのニーズを取り入れたイベントを企画することにより、本当に望まれているイベントを実施することを目的としています。また、認識しきれていなかったみなさまのニーズを集めた上で、ご期待に添えるイベントを実現させていきます。

カレンダーの紹介


(1) 2023 JR東日本社員撮影カレンダー

B3サイズ壁掛けカレンダー(5種類) 販売価格:2,200円(税込)

タイトル別	カレンダー写真例	おすすめポイント
新幹線編		JR東日本の5方面の新幹線(東北、上越、北陸、秋田、山形)をすべて網羅しました。車両センター内や総合運転庁舎の屋上から撮影した写真など、普段は見られない姿を数多く収録しています。試験車両E956形「ALFA-X」やなつかしの200系のカラーを再現したE2系も掲載しています。
通勤電車編		引退から27年を経て復元された、話題のクモハ12形が登場します。車両センター内で撮影された貴重な風景や車両の並びを数多く掲載しました。中央線の車両が東海道線を走行する、普段では撮影することができない珍しい写真もございます！
特急列車編		人気の185系特急列車や、まだまだ現役の機関車が数多く登場！お召し列車を牽引した経歴を持つ機関車の写真は貴重な写真です。表紙は全車両グリーン車「サフィール踊り子号」で、現在在籍する2編成の珍しい並びです！
東北エリア編		最後の活躍！C58-239 SL銀河を表紙に掲載しました。東北地方の6県(青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県)を走る列車を収録しています。今は懐かしいキハ40系気動車も数多く登場！東北エリアの四季折々の風景もお楽しみください。
上越エリア編		表紙は人気の185系！撮影場所は、高崎車両センター構内です。異なるカラーの185系の並びは、今はもう見ることはできません。2022年に引退した115系やSLの力強く走る姿も収録されており、その他、新潟ゆかりのカラーリングとなった車両も数多く登場！

(2) 2023 撮り鉄コミュニティカレンダー

A5サイズ卓上カレンダー(1種類) 販売価格:1,430円(税込)

カレンダー写真例	おすすめポイント
	八ヶ岳をバックに桃源郷を軽快に走る485系「華」、咲き誇る紫陽花を横目に黒煙を上げて力走するC61-20、鮮やかな花火がホームを彩る上諏訪駅に停車する211系など、ファンならではの視点で鉄道の魅力を最大限に引き出した力作が多数です！